

## もっとも大切な注意事項

### 服用前

現在、服用(使用)している薬、飲み忘れ、飲み残しなどで手元に残っている薬はありませんか？

### 絶対に一緒に飲んではいけない薬

- ティーエスワンおよびそのジェネリック医薬品
- 5-FU、フルツロン、ユーエフティ、ゼローダ、トラフル、アイソポリン・5-FU、ユーゼル・ユーエフティ、ロイコポリン・ユーエフティ、アンコチル 等  
(これらのジェネリック医薬品も含む)\*

\*服用(使用)していた場合、少なくとも7日以上間隔をあけます。

### 飲み合わせに注意する薬

- フェニトイン(てんかんの薬)
- ワルファリンカリウム(血液を固まりにくくする薬)
- ロンサーフ(抗がん剤)

### 服用中：他の診療科、医療機関を受診する場合

他の診療科や他の病院を受診することを伝える

エスワнтаイホウを服用していることを知らせる

#### エスワнтаイホウの処方病院



担当の医師 薬剤師  
薬の飲み合わせを確認します。



患者さん

#### 他の診療科・他の病院



担当の医師・歯科医師 薬剤師  
薬の飲み合わせを確認します。

### 自宅に残っている薬について

ご自身の判断で、服用したり、使用しないでください。必ず、医師や薬剤師に相談しましょう。



# エスワнтаイホウを服用する患者さんへ



### エスワнтаイホウについて

- ティーエスワン®のオンスライズドジェネリックです。
- ティーエスワンと同一の原薬、添加物および製造方法で作られており、錠剤の大きさ・色・形も同じです。
- その効果や安全性はティーエスワンと同等です。

#### エスワнтаイホウ配合 OD錠T20(うすい青緑)

20mg



OD錠本体  
(実物大)



#### エスワнтаイホウ配合 OD錠T25(うすいだいだい)

25mg



OD錠本体  
(実物大)



### エスワнтаイホウの服用方法と治療スケジュール

#### 服用方法

決められた量を1日2回、朝夕の食後30分をめやすに服用します。  
空腹時の服用はさけてください。



#### 治療スケジュール

服用期間と休薬期間があり、これをくり返します。  
担当の医師、薬剤師の指示を守ってお飲みください。

服用期間

休薬期間



## 服用中の注意点

### 薬を飲み忘れた場合

絶対に2回分を一度に飲まずに、飲み忘れの分をとばして、次の分から飲みましょう。

飲み忘れたからといって、2回分を一度に飲まないでください。



### まちがえて多く飲んでしまった場合

すぐに担当の医師、薬剤師に連絡してください。

### 定期的な受診

効果や副作用を確かめるために、必ず担当の医師の指示に従い、定期的(2週間に1回以上)に診察や検査を受けましょう。



### 薬の保管

- ご本人以外の方が飲むことのないように気をつけてください。
- 子供の手の届かない所に保管してください。
- 直射日光、高温、湿気をさけ、室温で保管してください。



## 飲みはじめてから注意する症状

副作用の発現には個人差があり、症状や程度、発現時期はさまざまです。次のような症状に気づいたらできるだけ早く、担当の医師、薬剤師に連絡してください。

特に1日4回以上の下痢や、飲みはじめて数日以内に口内炎と同時に下痢が現れた場合は服用をやめてすぐに担当の医師に連絡してください。

## ■ エスワнтаイホウのおもな副作用と発現時期のめやす



		飲み始め	→ 1週目	→ 2週目	→ 3週目
確認します。 検査でわかる	骨髄抑制		白血球減少	ヘモグロビン減少(貧血) 血小板減少	
	肝機能の障害		AST(GOT)上昇 ALT(GPT)上昇		ビリルビン上昇
副作用 自分でわかる	吐き気		食欲不振 口内炎 発疹	下痢 色素沈着	涙液 (涙がでる)

## 服用のてびき・服薬記録の活用

服用のてびきは、エスワнтаイホウの投与方法、服用に関する注意、副作用などをまとめたものです。服薬記録は、エスワнтаイホウの服薬状況や感じる副作用を患者さん自身に記録していただき、担当の医師や薬剤師に共有することでその後のエスワнтаイホウ治療に役立てるものです。



薬剤師が、電話にて服薬状況、副作用などの症状、食事の量などの日常生活について聞き取ることがあります。服薬記録を記載しているとそれまでのことを思い出すことが容易になりますので、是非、ご活用ください。

### こんな時にはがまんしないで、担当の医師や薬剤師に連絡してください。

- 発熱、感染症: 38℃以上の熱
- 飲み始めて数日以内に下痢と口内炎が同時にあらわれる
- 口内炎: 広い範囲に痛みがある(食事がとれない)
- 激しい下痢、下痢が長く続く
- 吐き気、嘔吐: 症状が強い、長く続く
- 1日の排便回数がふだんよりも4回以上増加(食事がとれない)

次のような症状に気づいた場合も、いったん飲むのをやめて、すぐに担当の医師や薬剤師に相談してください。

**【神経】**しびれ、舌のもつれ、歩行時のふらつき、物忘れがひどくなる; **【嗅覚】**においがわかりにくい; **【心臓】**胸が痛む、動悸、脈拍が不規則になる; **【肝臓】**からだがだるい、目や皮膚が黄色くなる; **【腎臓】**尿量が減る、尿の泡立ちが増加する、顔や手足などがむくむ、血尿; **【消化器】**血便(黒色の便); **【皮膚】**やけど様の水ぶくれ、口や目の粘膜のただれ; **【筋肉】**手足に力がいらない、筋肉が痛い、尿が赤黒い